

ソフトターゲット等へのテロ対策（テロリストから見た豊島区の問題点と対策）

軍事・情報戦略研究所長 西村金一

日本の主要都市は、パリ、ローマ、ロンドンの主要駅に比べると、とてつもなく人が密集する。このようなところで、銃乱射や自爆テロが実行されれば、その被害は甚大になる。豊島区では、人が密集する駅、商業施設があるので、テロに狙われやすい。また、テロが行われれば、一瞬にして多くの人々が殺害されることになる。

豊島区で生起する可能性がある「ソフトターゲットを狙うテロを、どのように防ぐか」について、①世界で起きたテロ事案の中から、豊島区で生起する可能性があるテロ事案（ソフトターゲット）と教訓を抽出する。②テロ事案の後、世界ではどのような対策が採られているのかを紹介する。③豊島区で何が生起するのか（テロの種類と地点）を考察する。④生起する可能性があるテロへの対策を列挙する。⑤発生した場合の影響はどのようなものか、を紹介する。

まず、豊島区で生起する可能性があるテロの種類と地点について、説明する。サンシャインなど人が集まる著名な施設では、爆破テロ。池袋駅前からサンシャインに至る歩行者天国では、車両突入テロ。人が密集する池袋駅改札付近から地上出口までは、爆破テロや銃乱射の可能性はある。これらに対する具体的な対策を紹介する。特に、それぞれの場所で、不審者の早期発見、不審者を建物内部に入れない、テロを実行前に止めることが必要だ。

地下鉄

地下鉄と駅を狙うとしたら

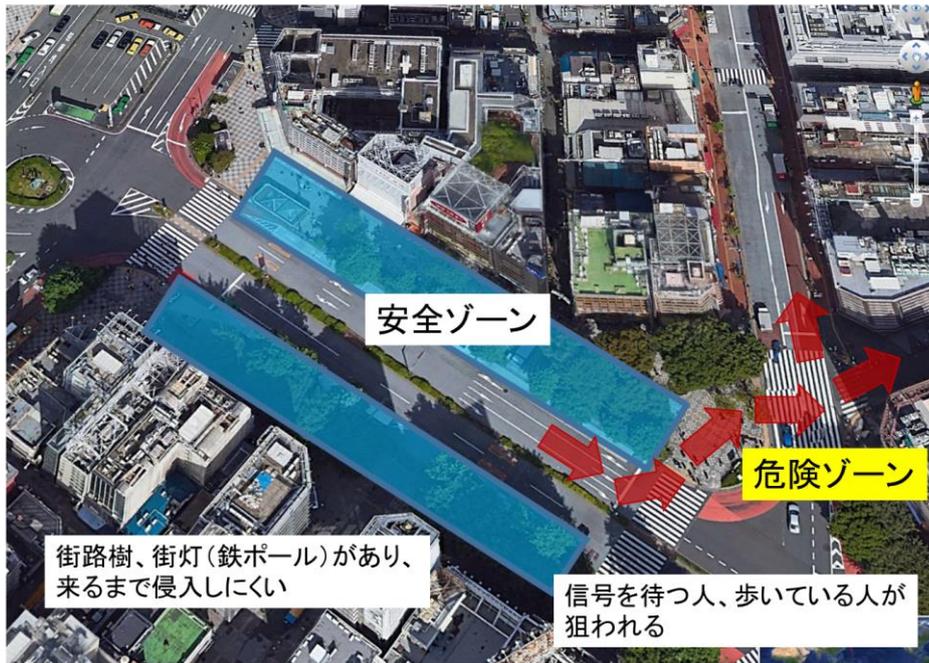
自爆や時限爆弾を使う

東武東上線池袋駅

JR東日本池袋駅

<http://bunjinn.cocolog-nifty.com/photos/uncategorized/2014/12/06/img4992.jpg>

池袋駅前から豊島区役所通り 危険見積



グーグル 写真使用

車両テロが予想される池袋駅東口～サンシャイン60通り

